



指標2 全年齢・環境を網羅する予防活動(一部抜粋)

		子ども	青年	成人	高齢者
生活環境	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達支援巡回 乳幼児健診 啓発パンフレット配布 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・生活支援相談 糖尿病教室 障がい者相談 	<ul style="list-style-type: none"> 医療・生活支援相談 糖尿病教室 障がい者相談 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいコール事業 介護予防事業 緊急通報システム事業
	学校	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の安全点検 子ども110番の家 AEDの設置、講習会 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動 救急・AED講習会 	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動 	
	職場		<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労支援 労働災害防止 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者就労支援 労働災害防止 	<ul style="list-style-type: none"> 労働災害防止
	交通(公共)	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 登下校の見守り 交通安全運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動 	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室 交通安全運動 飲酒運転撲滅運動
	余暇	<ul style="list-style-type: none"> 子供向け水泳教室 AED講習会 熱中症予防講習会 	<ul style="list-style-type: none"> 救急・AED講習会 施設の安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> 救急AED講習会 施設の安全点検 	<ul style="list-style-type: none"> シルバースポーツ大会 救急AED講習会
意図的	暴力	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待への対応 DV等の対象発見と相談実施 	<ul style="list-style-type: none"> DV相談 暴力排除事業 	<ul style="list-style-type: none"> DV相談 暴力排除事業 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待相談 暴力排除事業
	自殺		<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 予防パンフレットの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 多重債務の相談 ゲートキーパーの養成 	<ul style="list-style-type: none"> 自殺予防講演会 こころの相談 ゲートキーパーの養成
災害		<ul style="list-style-type: none"> 保育所、学校等での避難訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所の設置 各公共施設での避難訓練 自主防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所の設置 各公共施設での避難訓練 自主防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者登録台帳の整備 自主防災訓練



指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた 予防活動

番号	グループ
1	先住民
2	低所得層
3	コミュニティにおけるマイノリティ
4	犯罪被害や自傷を含む意図的要因による外傷のリスクにある人
5	虐待を受ける女性・男性・子ども
6	精神的疾患・発達障害及び他の障がいをもつ人
7	安全でないスポーツ、余暇活動に参加している人
8	ホームレス
9	自然災害において外傷のリスクにある人
10	特定の道路や交差点、水害被害想定地などハイリスクの観光の近くで生活したり働いたりしている人
11	宗教、民族および性的な嗜好等によりハイリスクにある人

・ 地域診断を基に
ハイリスクグループ
の抽出。

・ 既存の取組の整理と改善
及び新規取組み

指標3 ハイリスクグループや環境に焦点を当てた 予防活動

ハイリスク グループ	① 高齢者（交通事故、転倒によるケガ、虐待、徘徊）	交通・高齢者の安全対策委員会
	② 子ども（交通事故、自宅・学校のケガ、虐待）	交通・子どもの安全対策委員会
	③ 身体障がい者（自然災害、見守り）	災害・高齢者の安全対策委員会
	④ 自殺のおそれがある者	自殺予防対策委員会
	⑤ 自然災害によるリスクのある人	災害時の安全対策委員会
ハイリスク 環 境	① 大雪で孤立した地域がある	災害時の安全対策委員会
	② 土砂災害危険地域が多い	災害時の安全対策委員会
	③ 交通事故が多発している場所	交通安全対策委員会

指標4・指標5・指標6

指標
4

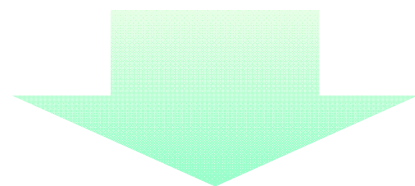
あらゆる入手可能な「根拠」に基づいた仕組み

指標
5

外傷の頻度と原因を記録する仕組み

指標
6

取組みの効果・影響を測定・評価する仕組み



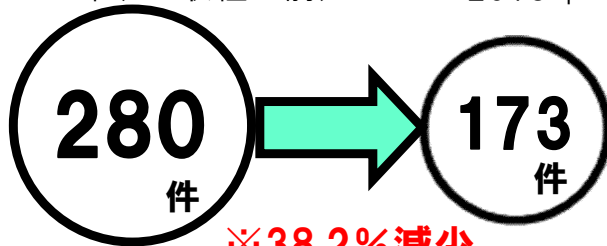
各対策委員会・外傷サーベイランス委員会の活動報告で説明

これまでの取組みの成果(数字的効果)

交通安全

【人身交通事故件数】

2012年(SC取組み前) 2018年



※38.2%減少

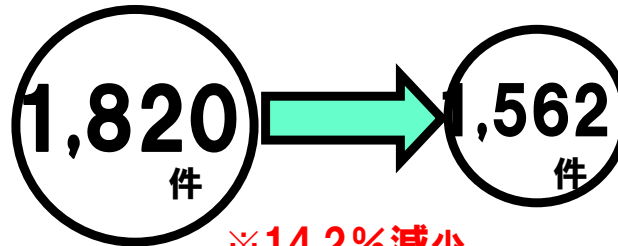
出典:警察統計



子どもの安全

【取組みモデル3校でのケガの発生件数】

2014年度(カウント開始) 2018年度



※14.2%減少

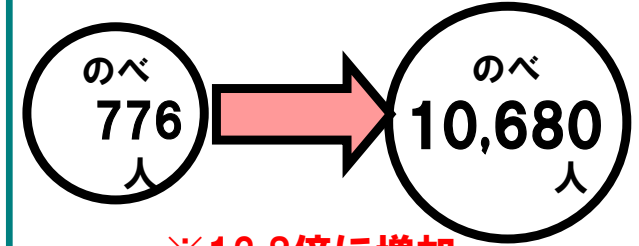
出典:モデル校3校保健室



高齢者の安全

【お茶のみ体操実施者数】

2013年(SC取組み年) 2018年度



※13.8倍に増加

出典:地域医療対策課

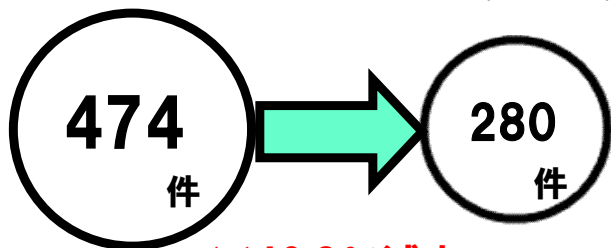


これまでの取組みの成果

犯罪の防止

【刑法犯の認知件数】

2012年(SC取組み前) 2018年(H30年)



※40.9%減少

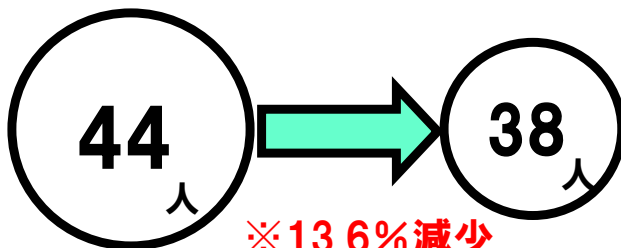
出典:警察統計



自殺予防

【自殺者数】

2012年(SC取組み前) 2018年(H30年)



※13.6%減少

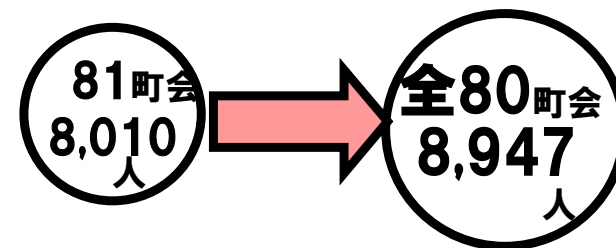
出典:秩父保健所



災害時の安全

【自主防災訓練の参加者数】

2012年(SC取組み前) 2018年(H30年)



※参加者数の増加

出典:危機管理課

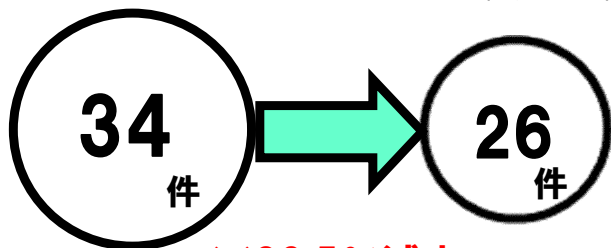


これまでの取組みの成果

自然の中での安全

【山岳遭難事故件数】

2012年(SC取組み前) 2018年(H30年)



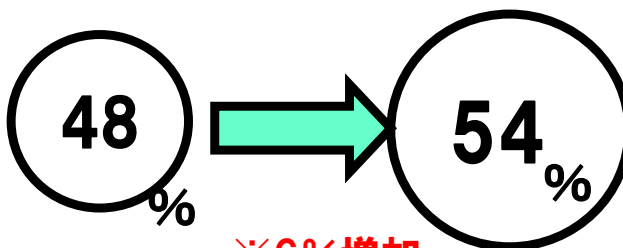
※23.5%減少

出典:警察統計



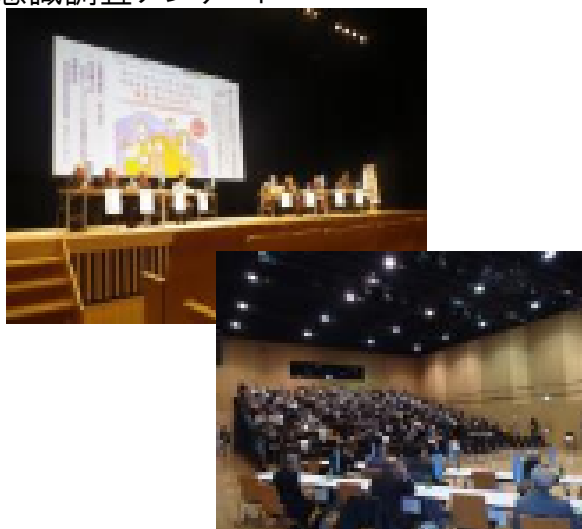
SC周知度

2016年度(H28年度) 2019年(R1年)



※6%増加

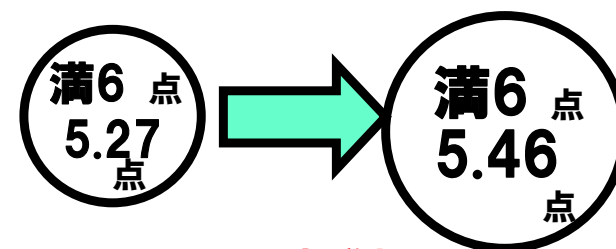
出典:安全・安心なまちづくりに関する市民意識調査アンケート



市民満足度

重要度 【防犯対策の強化】

2012年(SC取組み前) 2016年(H28年)

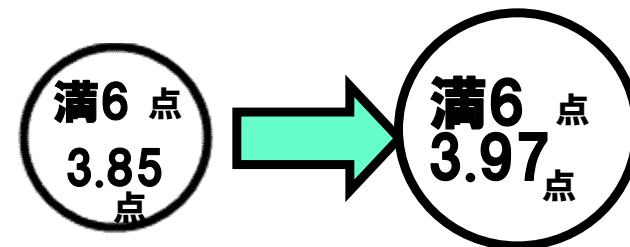


※0.19点増加

出典:市民満足度調査

満足度

2012年(SC取組み前) 2016年(H28年)



※0.12点増加

出典:市民満足度調査

インターナショナルセーフスクール

- 安全に関する児童・生徒の自発的な発言・行動
- 保健室データによるケガの件数が減少

2018年11月 再認証

秩父第二中学校

花の木小学校

南学校

★ 中学校区で取組みを実施



セーフスクールの経験をセーフコミュニティへ

指標7 国内外のセーフコミュニティ ネットワークへの継続的な参加

認証後

2016年 事前・現地審査4件 認証式2件

2017年 事前・現地審査7件 認証式1件

2018年 事前・現地審査5件 認証式6件

2017年 国際会議（セルビア大会）

2018年 アジア会議（厚木大会）

※このほか、セーフコミュニティ定例会議、研修会等にも参加している。

根拠ある取組みを進めるための工夫①

国の研究機関との連携①

(最近の事例) 子どもの安全対策委員会

- ・危険予測学習
- ・出前講座(スマートフォン、自転車ヘルメット、スポーツの安全など)
- ・部活動(野球部フェイスガード着用研究)の安全

危険予測学習



スポーツ外傷



フェイスガード

スポーツ外傷: 自打球で目の傷害



今後の研究

- ・保育所プールでの安全(園児と保育士の行動調査)→子どもの安全対策委員会で資料活用
- ・川底の流量調査→自然の中での安全対策委員会で資料活用
- ・立位機能検査(高齢者のバランス感覚と年齢を測定)→指標として使用を検討

国の研究機関との連携①-2

危険予測学習



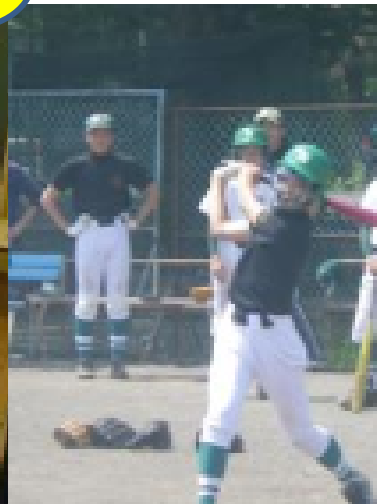
危険箇所を考え、
対応する力を養う



フェイスガード



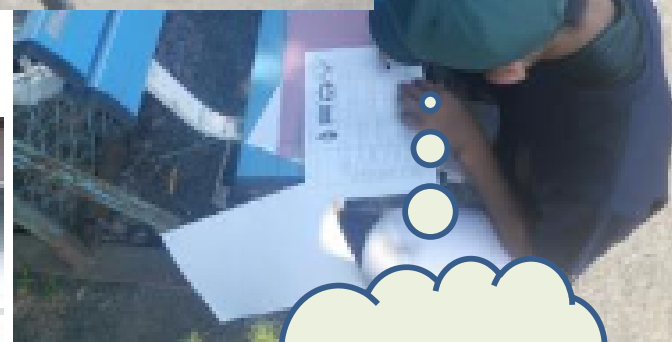
フェイスガードを
着用し、
打撃練習



出前講座:けが予防、ヘルメット



実用化に向
けて研究中



根拠ある取組みを進めるための工夫②

大学との連携①（明治大学）

建築学科

- (事例) 災害時の安全・子どもの安全対策委員会
- ・逃げ地図(避難計画図)の作成→地区防災計画の策定
 - ・まちなか点検(ISS学区の通学路点検を実施)



久那地区防災計画の内容と逃げ地図の活用方法

久那地区防災計画「土砂災害編」
〈図・一冊〉 2008.12月

人命を守るための行動計画

<p>目的 防災計画は、災害発生時の避難の指針となる。この計画は、災害発生時の避難の指針となる。この計画は、災害発生時の避難の指針となる。</p> <p>1. 平時から定期的に、町会単位で定期的な点検を実施し、点検結果を記録する。</p> <p>2. 住民として避難する際の注意</p> <p>3. 避難準備や避難時、町会単位での避難行動</p> <p>4. 避難経路が複数ある場合、町会単位での避難行動</p> <p>5. 避難経路が複数ある場合、町会単位での避難行動</p>	<p>1. 避難経路の確保、主要道路の確保</p> <p>2. 町会単位での避難行動の計画</p> <p>3. 避難経路の確保、主要道路の確保</p> <p>4. 避難経路の確保、主要道路の確保</p> <p>5. 避難経路の確保、主要道路の確保</p>
---	---

逃げ地図の活用を各所に明記



根拠ある取組みを進めるための工夫②

大学との連携② (東洋大学)

人間環境デザイン学科

- (事例)子どもの安全・高齢者の安全対策委員会
- ・子ども家庭内事故予防リーフレットデザインの作成
 - ・高齢者の転倒予防リーフレットデザインの作成

高齢者



旧版

新版



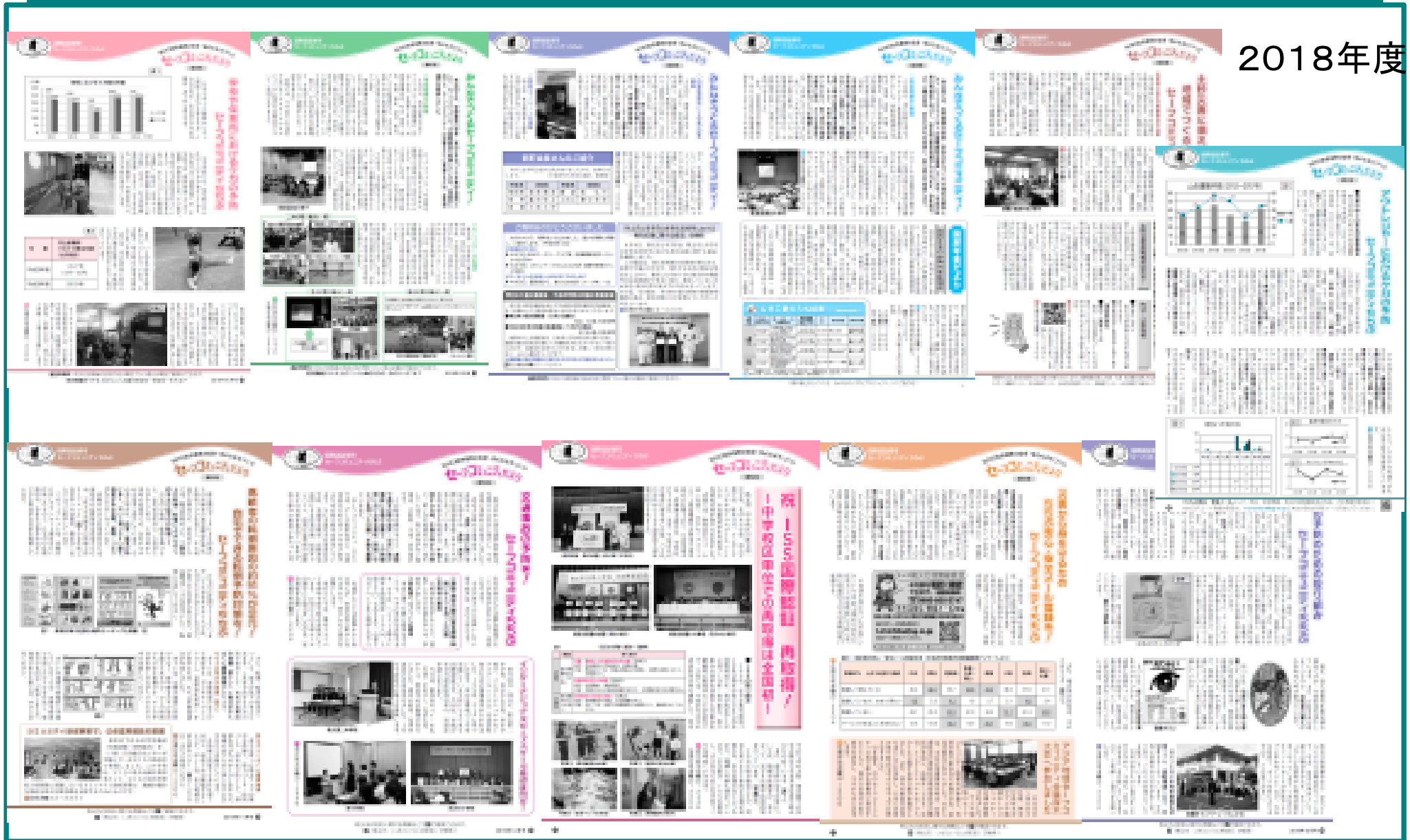
子ども



市民参画推進のための工夫①

市報ちちぶ（セーフコミュニティだより）による啓発活動

2018年度



市民参画推進のための工夫②

記念イベント(事業報告会)でのSC活動の呼びかけ

今日からできるSC活動(7委員会)

1. 犯罪

- ①見守り・パトロール
- ②防犯カメラ設置(自宅)
- ③目撃情報プロジェクトへの参加

2. 自殺

- ①ゲートキーパの協力
「普段と様子が違う」→「声をかける」「相談窓口につなげる」

3. 子ども

- 見守り放送が聞こえたら
↓
①登下校の見守り

交通

- ①反射材の着用



災害

- ①安心・安全メール登録
- ②ハザードマップの確認



自然

- サイクリング(自転車乗車)時の
- ①ヘルメットの着用
- ②走行前(タイヤ、ブレーキ)点検



高齢者

- ①お茶のみ体操の実践
- ②自宅内整理・整頓



活動の工夫

対策委員会の連携



交通安全対策委員会

高齢者の安全対策委員会

子どもの安全対策委員会

取組みを同時に行うことで活動回数
や実施者を増やす

課題と今後の方向性

1. 認知度の向上

特に、若い世代を対象とした広報・啓発活動

2. 取組み実施者の拡大

一人ひとりが実践できる取り組みの拡大・呼びかけ

3. 連携・協働の新たな仕組みづくり

現在SC活動に参加していない団体や企業、学生などとの
連携・協働

課題と今後の展望②

4.セーフコミュニティの必要性和効果のPR

事業報告会や記念イベント等への参加者の拡大
出前講座の普及と広報活動の拡充

5.将来の担い手の育成

ⅠSS活動の経験がある生徒をSC活動の場へ。





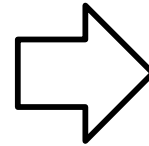
長期的な活動を確保するためのプログラム

①第2次秩父市総合振興計画
2016年度～2025年度(10年間)

基本方針

(5)社会基盤分野

① 安心安全なまちづくり

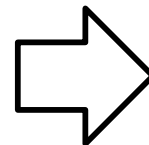
**SCの活用を明記****②セーフコミュニティ推進条例 2016年3月制定**

共助によるまちづくりを一層強力に推進することを決意し、条例を制定。議員提案による条例であり、市民の意思がより市政に反映されるよう努めている。

③秩父市の行財政運営 2016年度～2025年度(10年間)

1. 行政運営

(2)市民参画・協働の推進

**SCの活用を明記**



国際認証都市
セーフコミュニティちちぶ



ご清聴ありがとうございました！